

なにわの伝統工芸

受け継がれゆく匠の技と美

大阪府立弥生文化博物館 平成 28 年度冬季企画展

■ 平成 29 年

1 月 21 日 土 → 3 月 20 日 月・祝

鍛金 三好 正豊

鍛鉄燻船形花入

栃拭漆木葉盆

木工芸 藤寄 一正



茶の湯釜 角谷 征一

鶴首段ノ釜

流線文繰口釜

茶の湯釜 角谷 勇圭

串弥呼と出会う博物館
大阪府立弥生文化博物館
Museum of Yayoi Culture

〒594-0083 大阪府和泉市池上町 4-8-27
TEL.0725-46-2162
<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>

主催／大阪府立弥生文化博物館

後援／泉大津市・泉大津市教育委員会・

和泉市・和泉市教育委員会・大阪府教育委員会

入館料

一般 400 円、65 歳以上・高大生 300 円

※20 名様以上の団体は 2 割引

※中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方とその介助者 1 名は無料

開館時間

午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

休館日

毎週月曜日（3 月 20 日は開館）

なにおの伝統工芸

○藤寄 一正 (ふじさき かずまさ)
昭和18年、東大阪市生まれ。

早くに木工芸家を志し、家具や木材の会社で木工の基礎を実地に学び、木彫漆家瀬尾孝正氏、次いで、のちの人間国宝黒田辰秋氏に師事し、伝統工芸の木工・漆工の技法を高度に体得した。

第19回日本伝統工芸展に初入選以来、第21回、第29回、第56回展と3度も受賞し、大阪を代表する木工芸家としての地位を築いている。優美な曲線を活かした意匠と隅々まで行き届いた配慮、さらに使いやすさを追求した作風で定評がある。

平成23年1月、大阪府指定無形文化財「木工芸」保持者に認定される。

○三好 正豊 (みよし まさとよ)
昭和26年大阪市北区生まれ。

高校卒業後、早川徳太郎氏、次いで田中秀明氏に師事する。茶道具制作に従事し、高度に鍍金の技術を習得する。第34回日本伝統工芸展で初入選以来、第46回、第48回展で2度受賞の榮譽に輝く。平成18年、紫綬褒章を受章し、我が国鍍金の第一人者となった。硬い金属を炎で焼きなまししながら、叩き、延ばし、絞るなど自在に操る鍍金の技は卓越している。

平成26年4月、大阪府指定無形文化財「鍍金」保持者として認定される。

受け継がれゆく匠の技と美

○角谷 征一 (かくたに せいいち)
昭和14年、のちの人間国宝角谷一圭氏の長男として大阪市東成区に生まれる。

高校卒業後、東京でデザインの勉強をする。郷里に戻り、父一圭氏に師事し、茶の湯釜を中心とする鉄鋳物の技術を修練する。

第12回日本伝統工芸展に初入選以来、第38回展で受賞するなど、わが国を代表する茶の湯釜作家の地位を占める。その作風はシャープで繊細、現代的と評される。

平成26年4月、大阪府指定無形文化財「茶の湯釜」保持者として認定される。

○角谷 勇圭 (かくたに ゆうけい)
昭和17年、のちの人間国宝角谷一圭氏の次男として大阪市東成区に生まれる。

高校卒業後、意匠関係の会社に勤め、昭和45年、父一圭氏に師事する。第18回日本伝統工芸展に初入選以来、第37回、第62回展でも2度の受賞をする。

氏の作風は茶釜の造形のみならず、花鳥風月文様の表現に卓越し、銀付の形にも優れた造形力を発揮している。

平成27年4月、大阪府指定無形文化財「茶の湯釜」保持者として認定される。

作家（大阪府指定無形文化財保持者）と展示担当による座談会

- 2月11日（土・祝）「技を語る（木工芸・鍍金）」
藤寄一正氏・三好正豊氏
- 3月4日（土）「技を語る（茶の湯釜）」
角谷征一氏・角谷勇圭氏

講演会

- 2月4日（土）「考古学からみた漆工の歴史」
井ノ上佳美（当館学芸員）
「古代の木工技術」
黒崎 直（当館館長）
- 2月19日（日）「考古学からみた金工の歴史」
井上知花（当館学芸員）
「古代の金工技術」
新海正博（公益財団法人大阪府文化財センター）

*時 間：いずれも午後2時～4時
*定 員：各回とも170名
（当日先着順・開館時より整理券配布・午後1時30分から受付）
*参加費：無料（要入館料）

作家（大阪府指定無形文化財保持者）と展示担当による展示品解説

- 2月4日（土） 展示担当
- 2月11日（土・祝） 藤寄一正氏（木工芸）・三好正豊氏（鍍金）
- 2月19日（日） 展示担当
- 3月4日（土） 角谷征一氏・角谷勇圭氏（茶の湯釜）

*時 間：午前11時から（約1時間）

昭和25年に制定された文化財保護法には、有形文化財に加え無形文化財の保護制度があります。第2次世界大戦後の伝統文化の衰微に危機感を持ち、雅楽や文楽などの伝統芸能、陶芸や染織などの伝統工芸も保護の対象となりました。

国に認定された無形文化財保持者は「人間国宝」と呼ばれますが、大阪府においても無形文化財保持者の認定を行っています（大阪府指定無形文化財保持者）。大阪府の指定無形文化財保持者はいずれも伝統工芸作家で、4名が認定されています。

本展は各作家の作品（木工芸・金属工芸）60点余りを集め、開催いたします。

箱や盆、筆筒などの作品に優しい曲線美を生かす藤寄一正氏。人間国宝である角谷一圭氏を父にもち、茶の湯釜の伝統を受け継ぐ角谷征一氏と角谷勇圭氏。硬い金属を叩いて自在に花活けや水指を造形する三好正豊氏。

大阪府が誇る「匠」の作品が初めて一堂に会します。豪華な出会いをご期待ください。

ACCESS

JR阪和線信太山駅下車西へ約600m
南海本線松浜駅下車東へ約1,500m
【大阪方面からお越しの場合】
JR天王寺駅から和歌山方面行（阪和線）快速電車にご乗車になり、鳳（おとり）駅で普通電車にお乗換えください。
大阪駅からお越しの場合は、「関西・紀州路快速」をご利用になると便利です。
鳳から3駅目が信太山（しのだや）駅です。

国道26号「池上町」交差点南西角
P普通車72台（無料）

車券呼と出会う博物館
大阪府立弥生文化博物館
Museum of Yayoi Culture

〒594-0083 大阪府和泉市池上町4-8-27
TEL.0725-46-2162
http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/

